



THE  
ミズホ  
ONLINE

## 空に向かってスクスク！

## 葉も実も厚いMリンソラマメ



葉が厚く大きすぎない良い姿



オカワカメのように厚い葉

長年Mリンカリンを使用して鹿児島県出水市高尾野地区で水稻や野菜を作っておられる方の畑を拝見しました。そこには葉肉が厚く、上位葉は空に向かって斜め上に、中位葉は水平に、下位葉は斜め下にと、理想的な草姿のソラマメがありました。訪問時は3月下旬で下段の収穫目前で、3~5粒の莢がズラッと実っていました。

令和5年の冬はしっかりと冷える日が多く、霜に襲われることもあったようで、傷んでいる部分もありますが、概ね生育は順調でした。

Mリンシステムでは葉が大きい事は良い事とは限りません。葉は光合成をするデンプン工場ですので、1階建ての工場よりも10階建ての工場の方が仕事場の体積が大きく、たくさん作れます。葉も同じ考えで大きいだけよりも、ある程度の大きさでも厚みがあり体積の大きい方が「光合成能力が高い葉」と言えるのです。

この厚みのある光合成能力の高い葉を作るには、窒素と共にリン酸を効かせることがポイントとなります。この生産者さんは元肥に自家配合MリンPKと、窒素として油かすや牛ふんを使っていて、気温の低い時期でも効かせたいという考えが分かります。これが一般的な化成肥料だけだと、吸収率が低く流亡してムダになる分が多く、さらにリン酸も吸収しにくい物ですのでこの写真のようなぶ厚い葉は作れません。霜による被害が軽度だったのも、元肥MリンPKで葉に厚みがあったこと、発根促進でしっかり根を張っていたことが要因の一つと考えます。元肥のMリンPKは悪天候に耐えるためのお守りになったという訳です。

### 【肥培管理(10aあたり)】

土作り:牛ふん堆肥 1.5t

元肥:自家配合MリンPK(こな) 40kg、配合化成

定植:11/上

追肥:2/下 MリンPK 20~30kg、油かす 1袋



株式会社 ミズホ

〒466-0807 名古屋市昭和区山花町64-1

TEL: 052-763-4171 FAX: 052-761-3771

Mail [bio@mizuho.to](mailto:bio@mizuho.to)



### ●資材紹介●

自家配合

MリンPK

(10:1)



お知らせ：Mリンのミズホでは皆さまの栽培投稿を募集しています。QRから投稿下さい。